

「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」の 受賞組織の決定等

石油コンビナート等では、ひとたび災害が発生すれば被害が甚大なものとなることから、事業所に防災要員や消防車両等を備えた自衛防災組織が置かれています。

消防庁では、自衛防災組織の技能及び士気を向上させ、石油コンビナート等の防災力を強化することを目的に平成26年度から技能コンテストを行っています。

平成30年度は42組織に参加いただき、11月16日に消防庁で審査・表彰委員会を開催し、最優秀賞（総務大臣表彰）、優秀賞（総務大臣表彰）及び奨励賞（消防庁長官表彰）を決定しましたのでお知らせします。

なお、総務大臣賞表彰式は12月14日に開催します。

1 最優秀賞（1組織）【総務大臣表彰】

株式会社KSP大黒神奈川共同防災センター

2 優秀賞（4組織）【総務大臣表彰】

川崎市千鳥地区防災協議会

三井化学株式会社大阪工場自衛防災組織

関西国際空港航空機給油施設自衛防災組織

三井化学株式会社岩国大竹工場自衛防災組織

総務大臣賞表彰式は、平成30年12月14日（金）14時00分から、東海大学校友会館富士の間（東京都千代田区霞が関3-2-5）で開催します。

3 奨励賞（15組織）【消防庁長官表彰】

別添1のとおり

※別添一覧

別添1：受賞組織及び所在地一覧

別添2：最優秀賞を受賞した株式会社KSP大黒神奈川共同防災センターの競技風景



（連絡先）

消防庁特殊災害室 担当：吉岡、藤原、今土
TEL 03-5253-7528/FAX 03-5253-7538

最優秀賞（1 組織）【総務大臣表彰】

| 受賞組織名 | 所在地 |
|-------------------------|---------|
| 株式会社K S P 大黒神奈川共同防災センター | 神奈川県横浜市 |

優秀賞（4 組織）【総務大臣表彰】

| 受賞組織名 [事業所名] | 所在地 |
|---------------------------------------|-----------|
| 川崎市千鳥地区防災協議会 | 神奈川県川崎市 |
| 三井化学株式会社大阪工場自衛防災組織 [三井化学株式会社大阪工場] | 大阪府高石市 |
| 関西国際空港航空機給油施設自衛防災組織 [新関西国際空港株式会社] | 大阪府泉佐野市 |
| 三井化学株式会社岩国大竹工場自衛防災組織 [三井化学株式会社岩国大竹工場] | 山口県玖珂郡和木町 |

奨励賞（15 組織）【消防庁長官表彰】

| 受賞組織名 [事業所名] | 所在地 |
|---|-----------|
| 石油備蓄基地共同防災組織「苫東石油備蓄隊」 [苫東石油備蓄株式会社苫小牧事業所] | 北海道苫小牧市 |
| 秋田地区石油コンビナート等特別防災区域協議会 [秋田地区防災センター] | 秋田県秋田市 |
| 新日鐵住金株式会社鹿島製鐵所自衛防災組織 [新日鐵住金株式会社鹿島製鐵所] | 茨城県鹿嶋市 |
| 鹿島東部コンビナート共同防災組織共同M C C 隊 | 茨城県神栖市 |
| 千葉市新港地区共同防災協議会 | 千葉県千葉市 |
| 千種地区共同防災協議会三井化学隊 | 千葉県市原市 |
| 新潟西港地区共同防災協議会 | 新潟県新潟市 |
| 福井国家石油備蓄基地自衛防災組織 [福井石油備蓄株式会社福井事業所] | 福井県福井市 |
| 和歌山石油精製自衛消防隊 [和歌山石油精製株式会社海南工場] | 和歌山県海南市 |
| J F E スチール(株)西日本製鐵所自衛消防隊 [J F E スチール(株)西日本製鐵所 (福山地区)] | 広島県福山市 |
| 出光共同防災組織 [出光興産株式会社徳山事業所] | 山口県周南市 |
| 東ソー株式会社南陽事業所自衛防災組織 [東ソー株式会社南陽事業所] | 山口県周南市 |
| 西部石油 (株) 山口製油所自衛防災組織 [西部石油(株)山口製油所] | 山口県山陽小野田市 |
| コスモ石油株式会社坂出物流基地コスモ坂出自衛防災隊 [コスモ石油株式会社供給ユニット供給部坂出物流基地] | 香川県坂出市 |
| 西港・末広共同防災組織 [松藤商事株式会社防災事業部西港・末広共同防災センター] | 福岡県北九州市 |

最優秀賞を受賞した株式会社KSP大黒神奈川共同防災センターの競技風景



① 競技開始申告

中隊長が競技開始申告を行っている。
前方の車両は大型化学高所放水車、後方の車両は泡原液搬送車。



② 中隊長による下命

中隊長が把握した情報を基に小隊長及び隊員に具体的な活動を指示している。



③ 放水準備

大型化学高所放水車の隊員がホース延長。



④ 放水開始

放水ノズルから放水開始。

総評

中隊長を中心とした指揮命令系統が確立されており、統率のとれた活動が行われていました。また、全隊員が安全確実な資機材及び車両の操作を実施していました。